

2025 年度実施

「卒業生のキャリアの状況の把握」調査結果について

実施対象： 2025 年 3 月卒業生（5 期生）

卒業生の卒後の看護実践能力等に関する調査結果について

1. 調査概要

- 1) 調査目的：卒業後のキャリア形成の観点から、在学中に身につけた「学力や資質・能力」が、現在の職場で活かされているかどうかを目的とした調査を行い、今後の学修成果の評価および今後の教育活動の改善に活かして参ります。
- 2) 調査内容：学位授与方針に関する到達度
- 3) 調査対象：本学卒業生
- 4) 調査方法：同封の書面のQRコードへアクセスし、グーグルフォームで回答
- 5) 回答期間：2026年2月吉日 ～ 2026年3月31日

2. アンケート実施結果概要

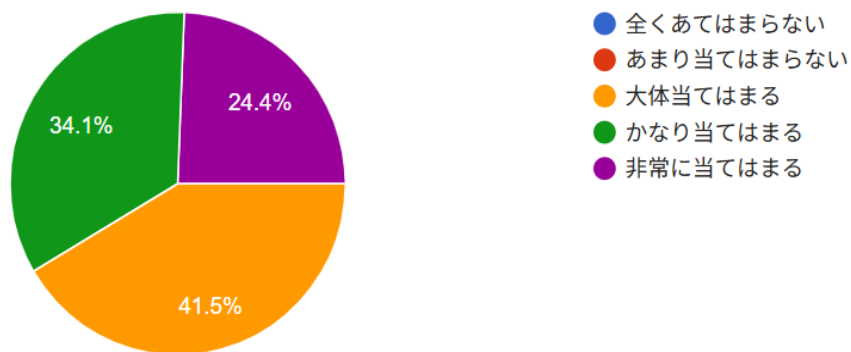
1) 集計数：

実施年度	2025年度
対象（卒業）年	2025(令和7)年3月 卒後1年目
対象人数	84人
有効回答人数	41人
回答率	48.8%

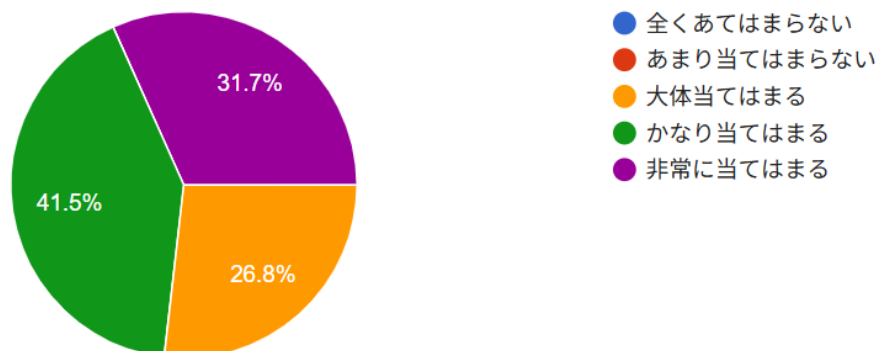
2) 回答結果：

<2025(令和7)年3月卒業>

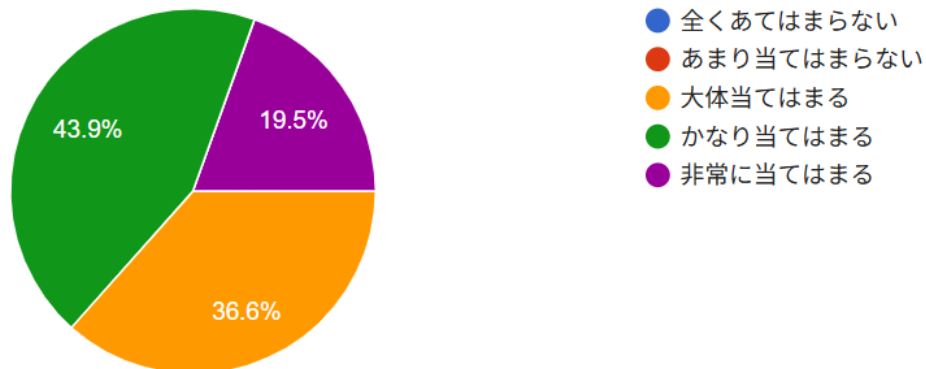
1. 高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



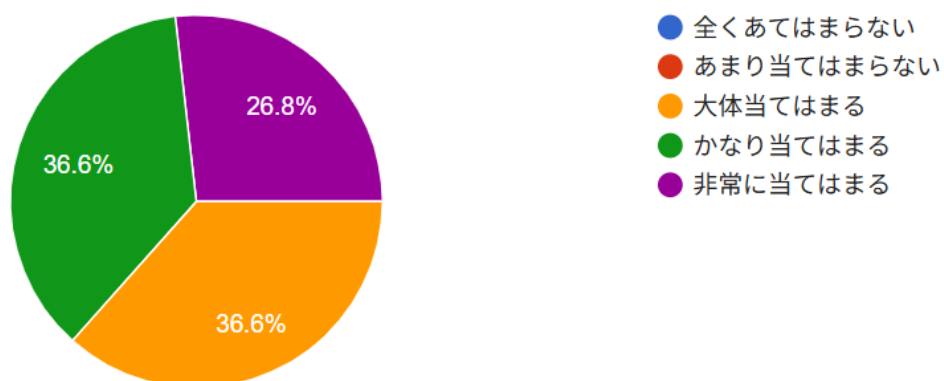
2. 人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



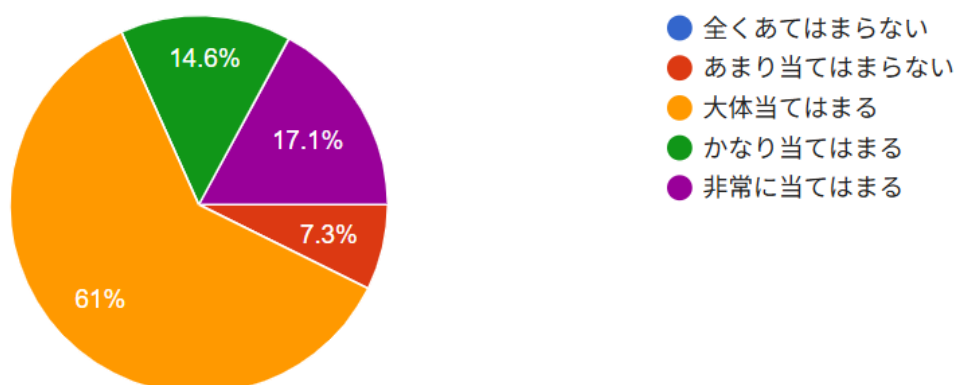
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



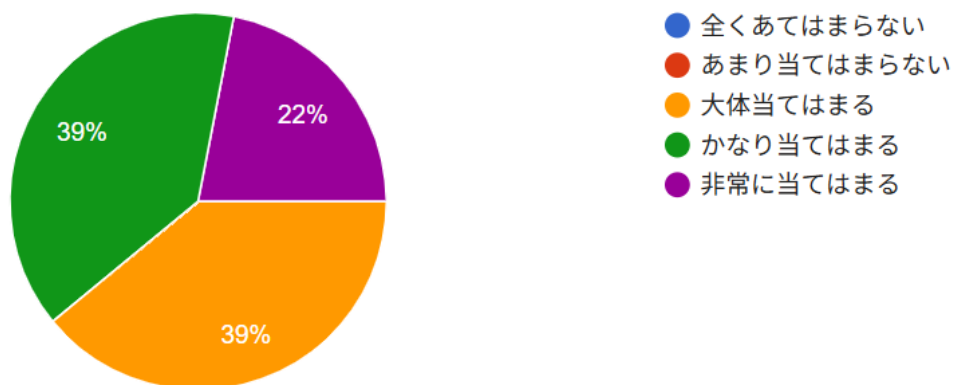
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



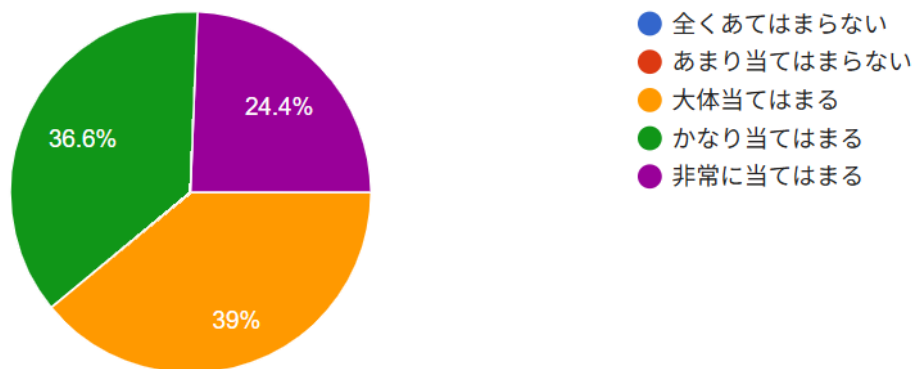
5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。



7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。



病院等アンケート実施結果について

1. 調査概要

- 1) 調査目的：本学の卒業生の「在学中に身につけさせる学力や資質・能力及び養成しようとする人材像に照らし合わせ、教育の成果や効果を検証すること」を目的とした調査を行い、今後の教育活動の改善に活かして参ります。

- 2) 調査内容：学位授与方針に関する到達度

- 3) 調査対象：本学卒業生の就職先の病院・施設

- 4) 調査方法：同封の書面のQRコードへアクセスし、グーグルフォームで回答

- 5) 回答期間：2026年2月吉日 ～ 2026年3月31日

2. アンケート実施結果概要

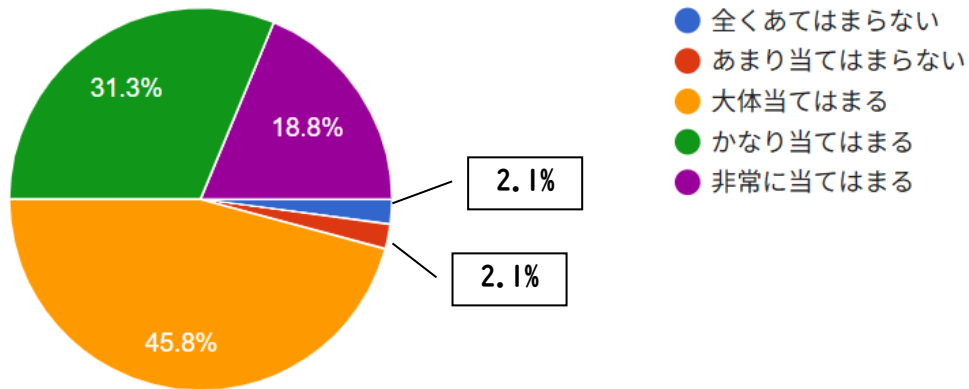
1) 集計数：

実施年度	20223年度
対象（入職）年	2025(令和7)年3月 卒後1年目
対象病院・施設数	37病院・施設数
有効回答病院・施設数	32病院・施設数
回答率	86.5%

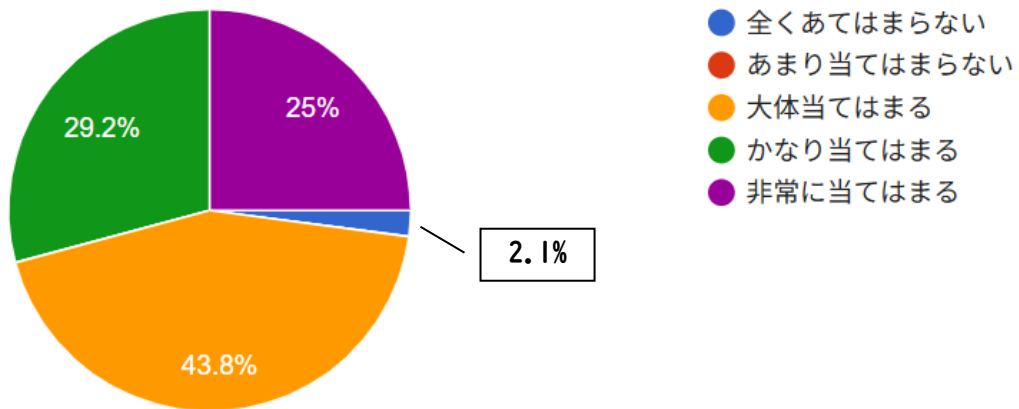
2) 回答結果：

<2025(令和7)年3月 入職>

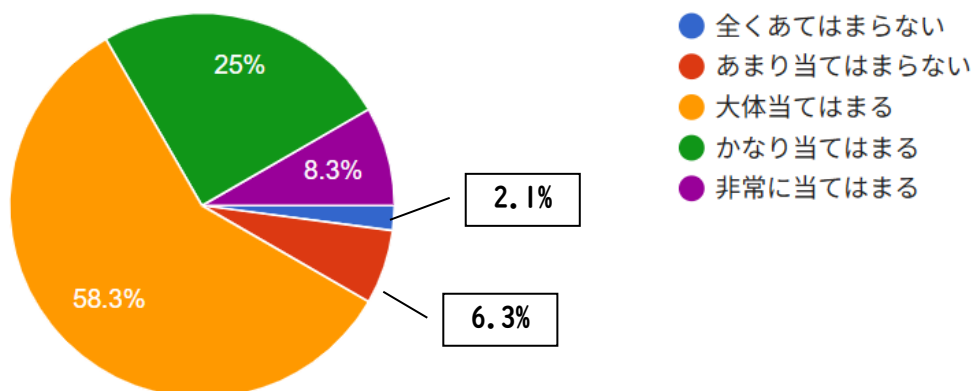
1.高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



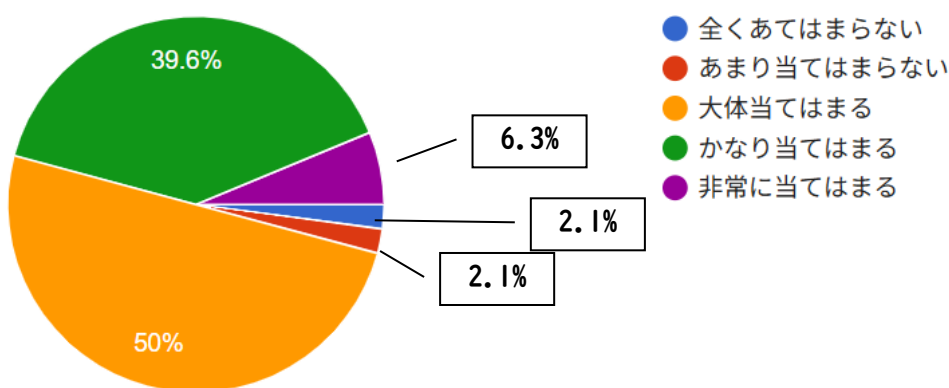
2.人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



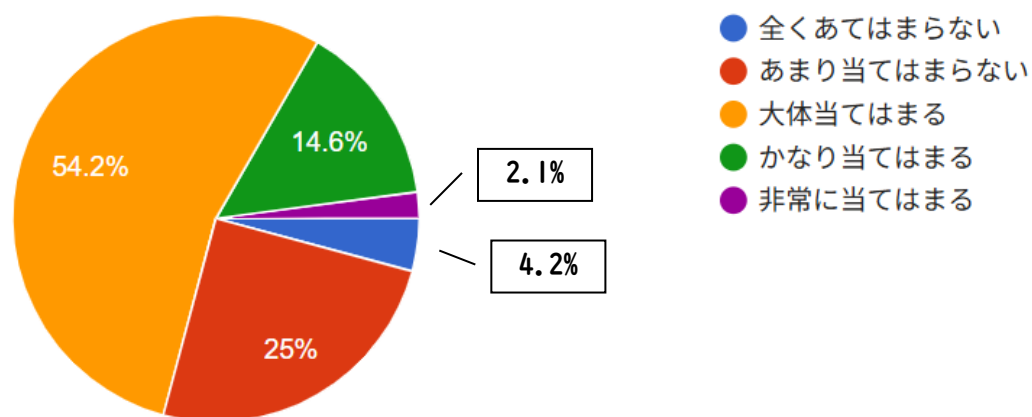
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



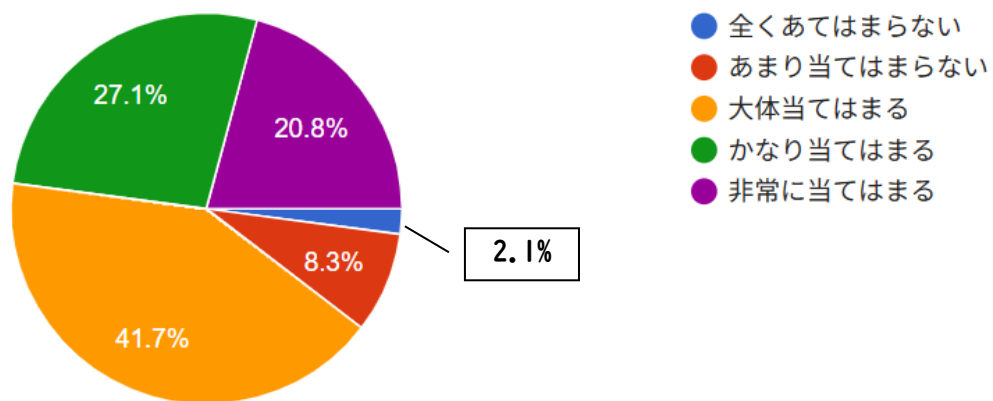
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



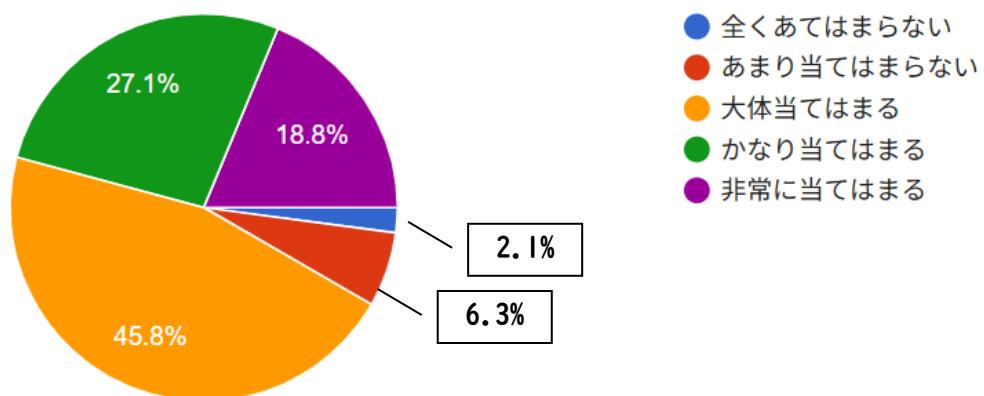
5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。



7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。



2024 年度実施

「卒業生のキャリアの状況の把握」調査結果について

実施対象：2024 年 3 月卒業生（4 期生）

卒業生の卒後の看護実践能力等に関する調査結果について

1. 調査概要

- 1) 調査目的：卒業後のキャリア形成の観点から、在学中に身につけた「学力や資質・能力」が、現在の職場で活かされているかどうかを目的とした調査を行い、今後の学修成果の評価および今後の教育活動の改善に活かして参ります。
- 2) 調査内容：学位授与方針に関する到達度
- 3) 調査対象：本学卒業生
- 4) 調査方法：同封の書面のQRコードへアクセスし、グーグルフォームで回答
- 5) 回答期間：2025 年2月吉日 ～ 2025 年3月31 日

2. アンケート実施結果概要

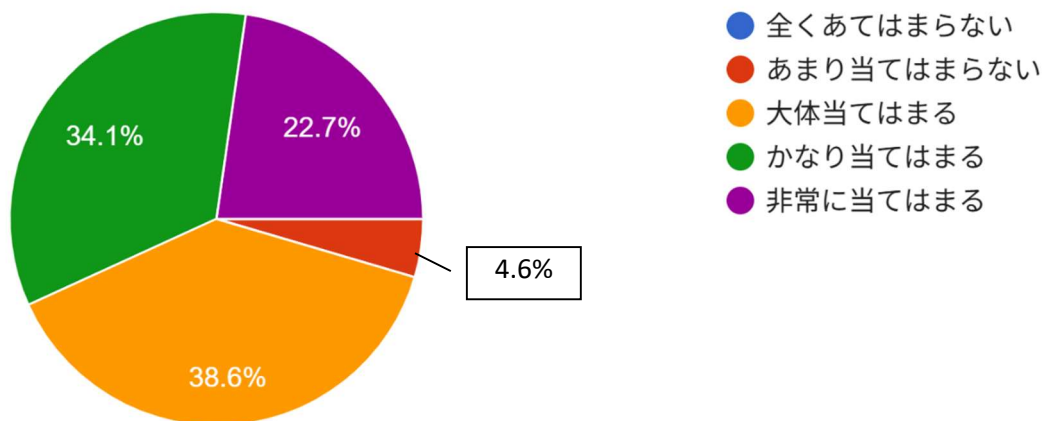
1) 集計数：

実施年度	2024 年度
対象（卒業）年	2024(令和6) 年3月 卒後1年目
対象人数	73 人
有効回答人数	44 人
回答率	60.0%

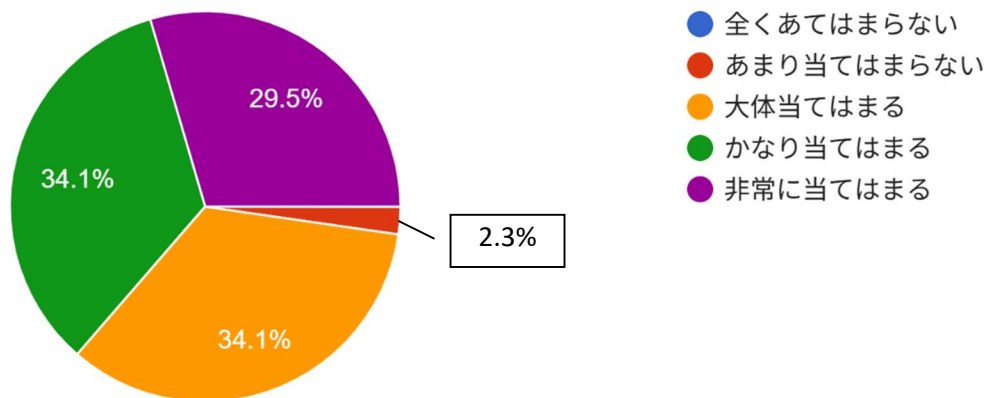
2) 回答結果：

<2024(令和6)年3月卒業>

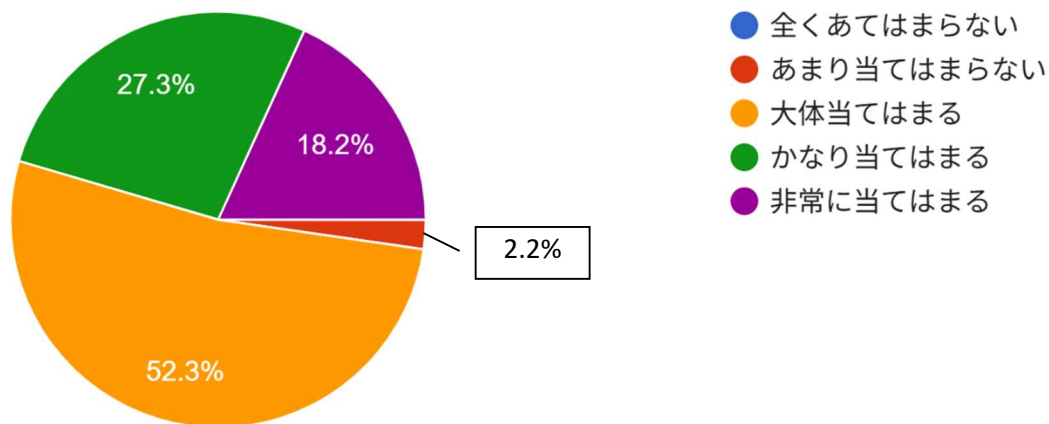
1. 高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



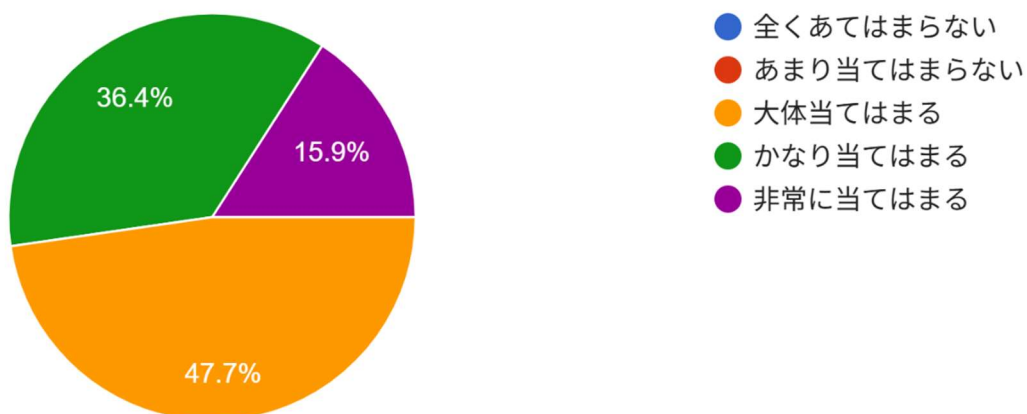
2. 人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



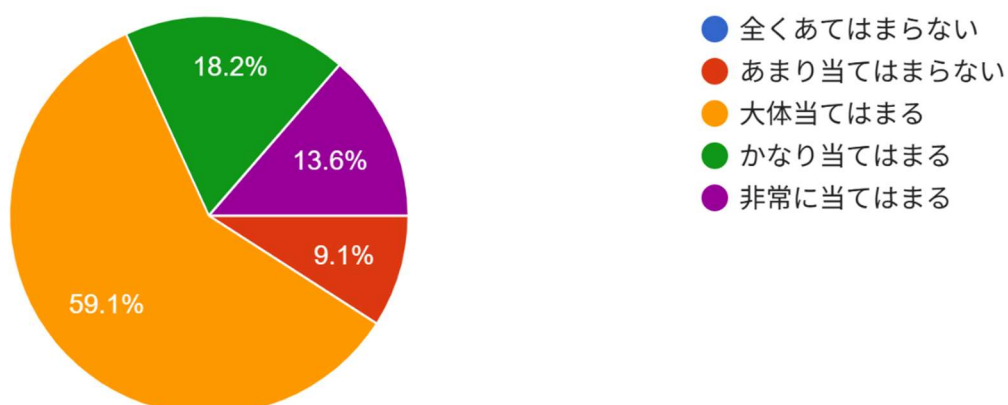
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



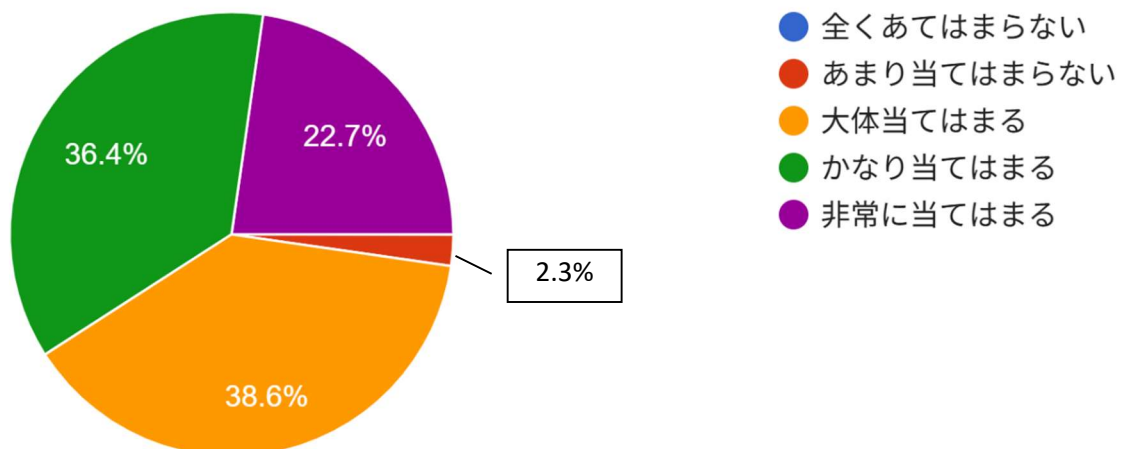
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



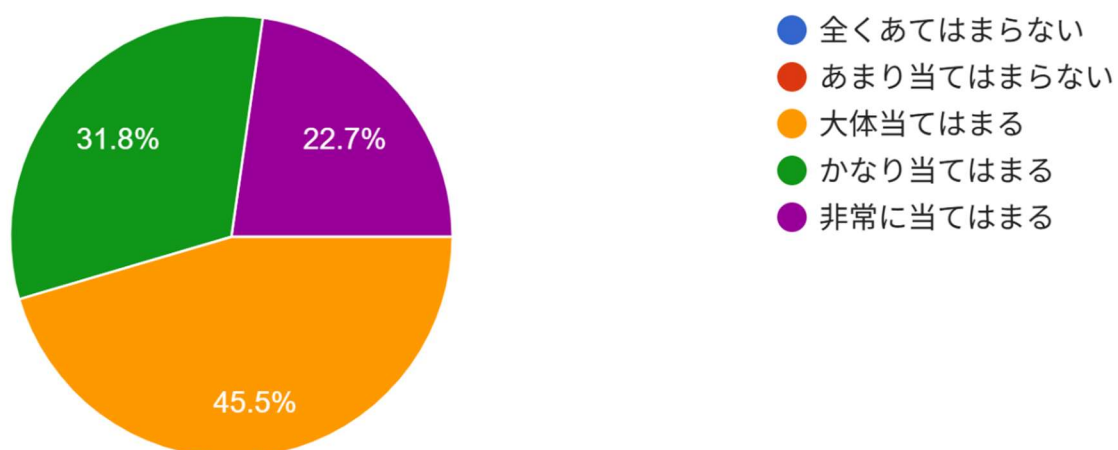
5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。



7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。



病院等アンケート実施結果について

1. 調査概要

- 1) 調査目的：本学の卒業生の「在学中に身につけさせる学力や資質・能力及び養成しようとする人材像に照らし合わせ、教育の成果や効果を検証すること」を目的とした調査を行い、今後の教育活動の改善に活かして参ります。
- 2) 調査内容：学位授与方針に関する到達度
- 3) 調査対象：本学卒業生の就職先の病院・施設
- 4) 調査方法：同封の書面のQRコードへアクセスし、グーグルフォームで回答
- 5) 回答期間：2025 年2月 吉 日 ～ 2025 年3月31 日

2. アンケート実施結果概要

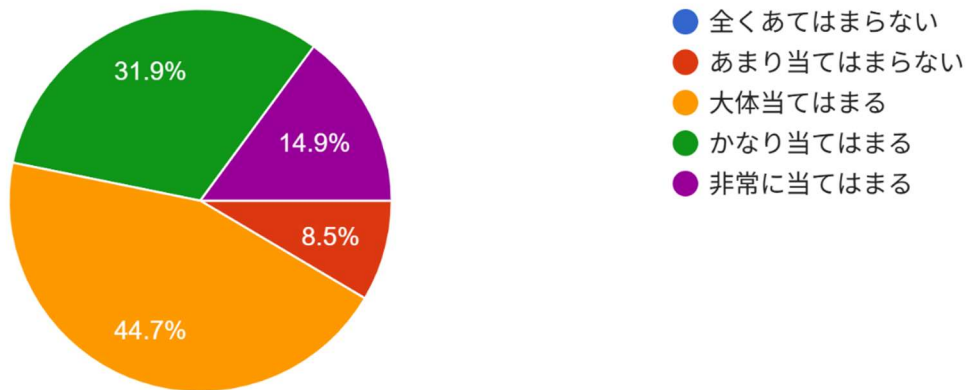
1) 集計数：

実施年度	2024年度
対象（入職）年	2024(令和6) 年3月 卒後1年目
対象病院・施設数	29 病院・施設数
有効回答病院・施設数	25 病院・施設数
回答率	86.2%

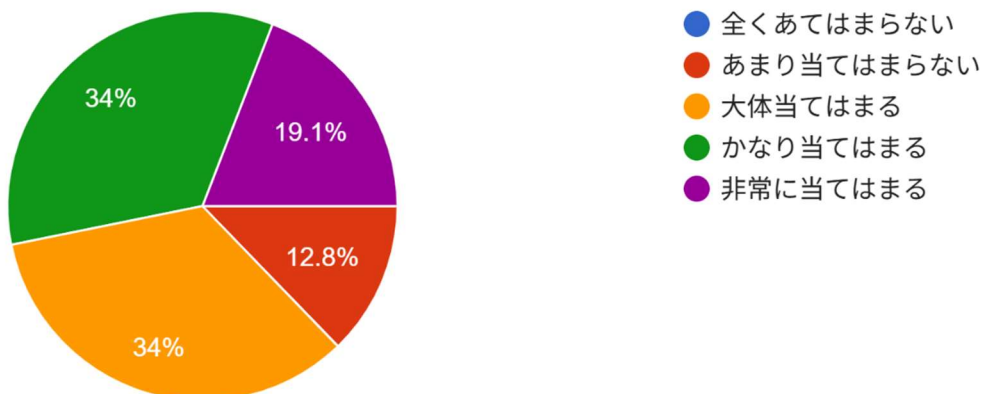
2) 回答結果：

<2024(令和6)年3月 入職者>

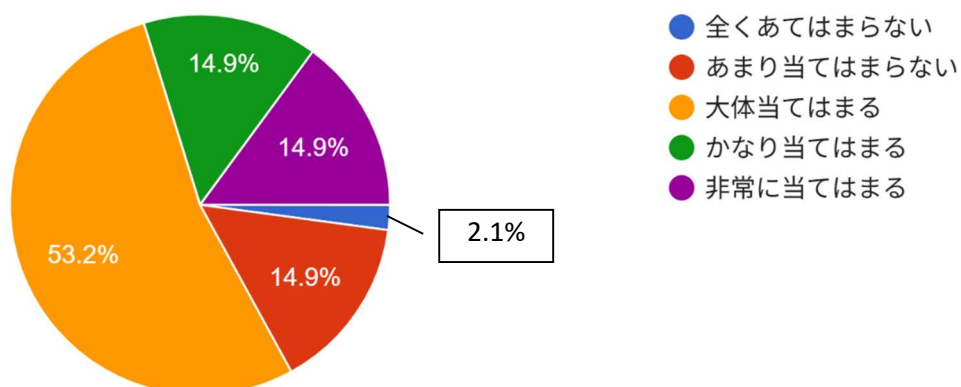
1.高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



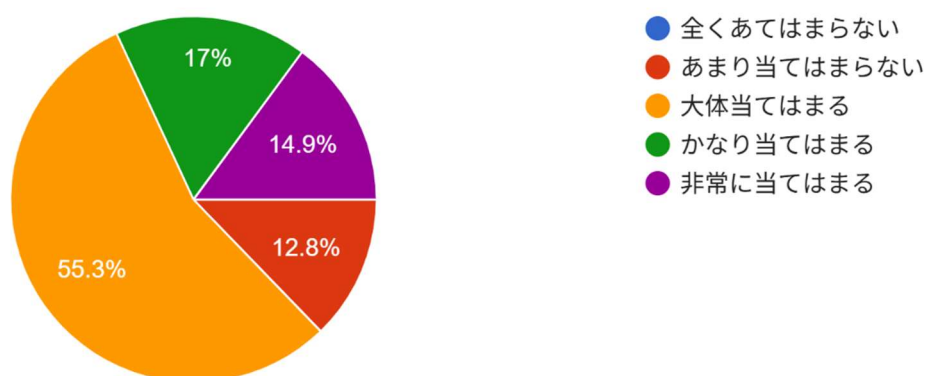
2.人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



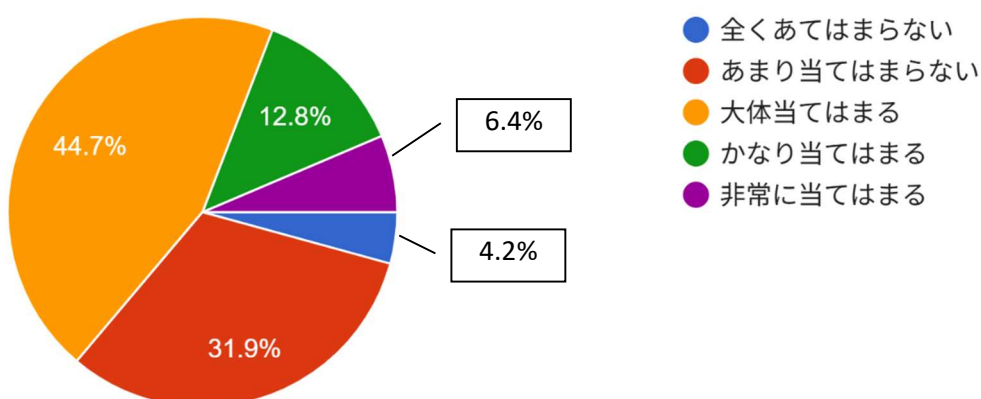
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



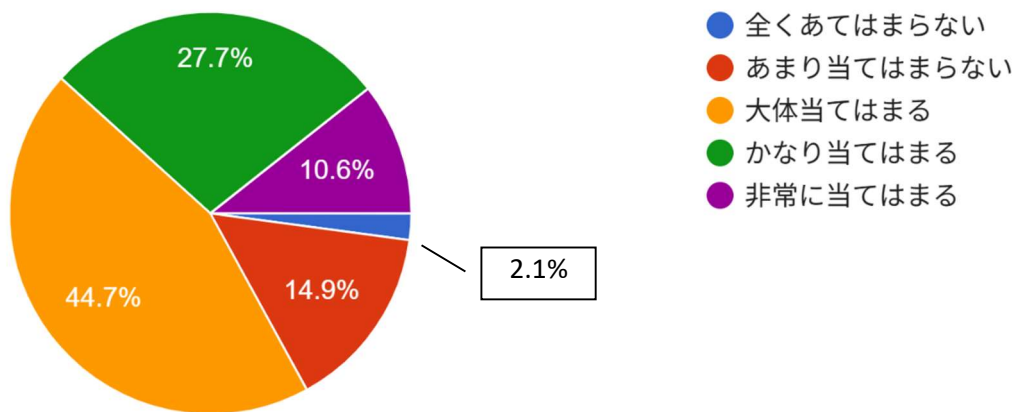
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



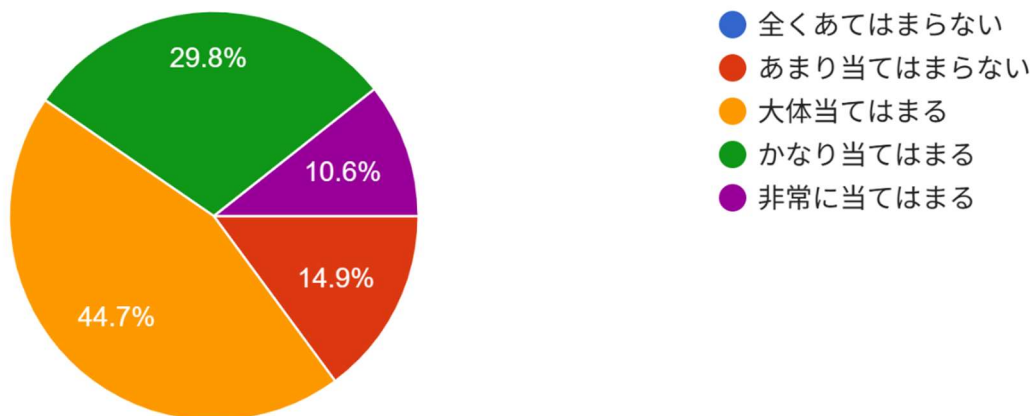
5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。



7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。



2023 年度実施

「卒業生のキャリアの状況の把握」調査結果について

実施対象：2023 年 3 月卒業生（3 期生）

卒業生の卒後の看護実践能力等に関する調査結果について

1. 調査概要

- 1) 調査目的：卒業後のキャリア形成の観点から、在学中に身につけた「学力や資質・能力」が、現在の職場で活かされているかどうかを目的とした調査を行い、今後の学修成果の評価および今後の教育活動の改善に活かして参ります。
- 2) 調査内容：学位授与方針に関する到達度
- 3) 調査対象：本学卒業生
- 4) 調査方法：同封の書面のQRコードへアクセスし、グーグルフォームで回答
- 5) 回答期間：2024 年1月吉日 ～ 2024 年3月15 日

2. アンケート実施結果概要

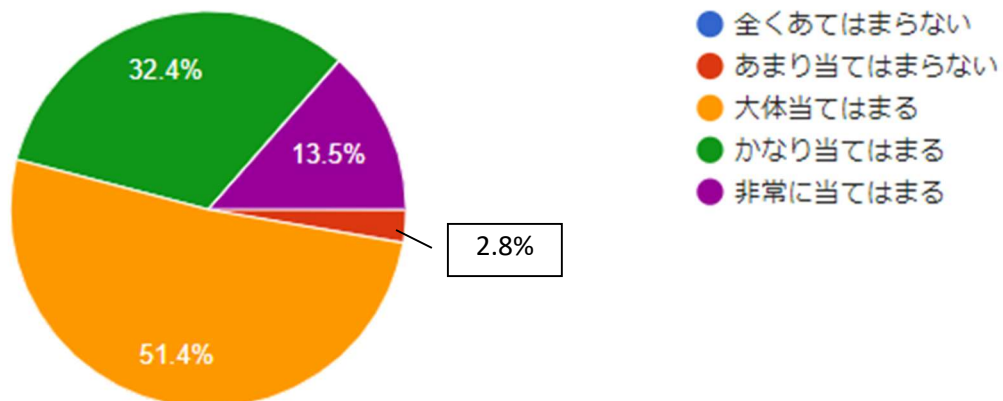
1) 集計数：

実施年度	2023 年度
対象（卒業）年	2023(令和5) 年3月 卒後1年目
対象人数	84 人
有効回答人数	37 人
回答率	44.0%

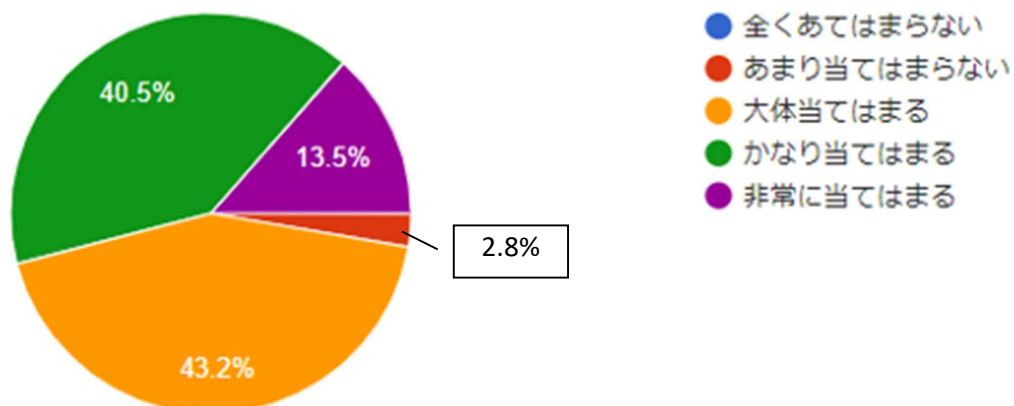
2) 回答結果：

<2023(令和5)年3月卒業>

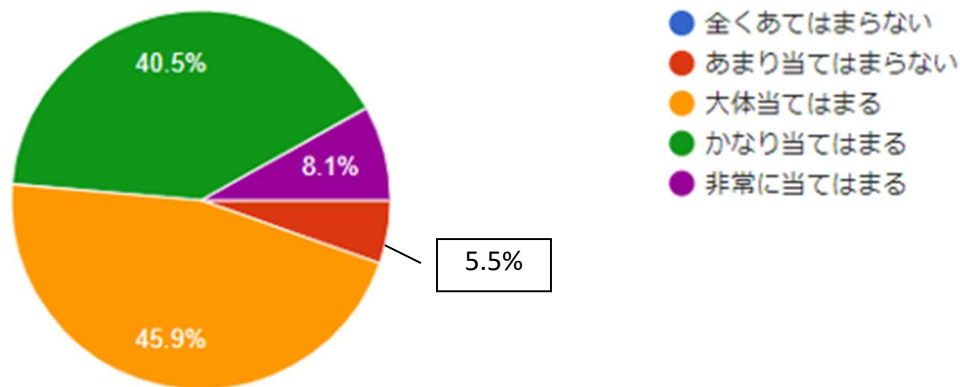
1. 高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



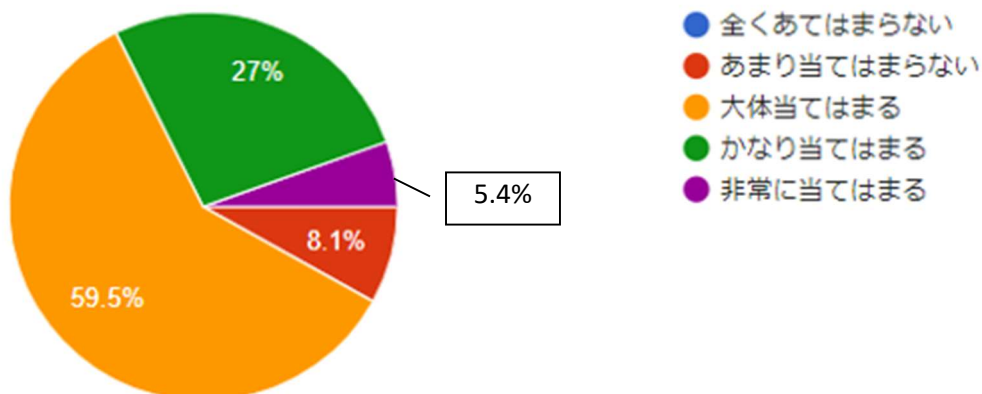
2. 人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



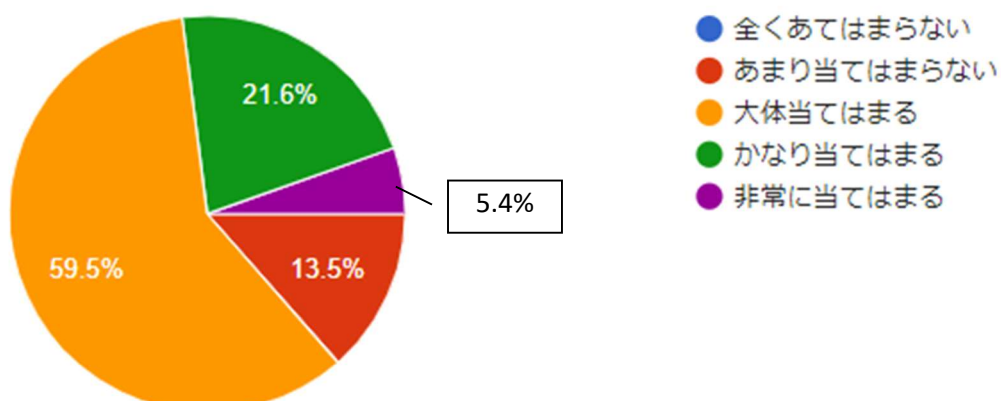
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



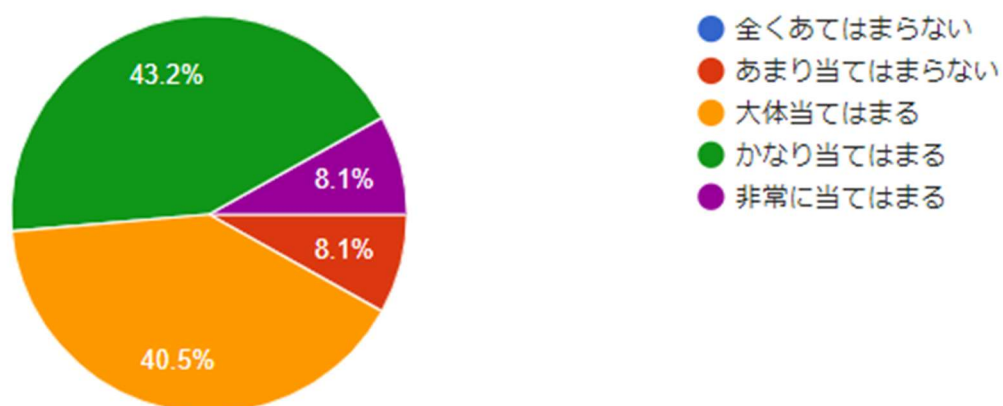
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



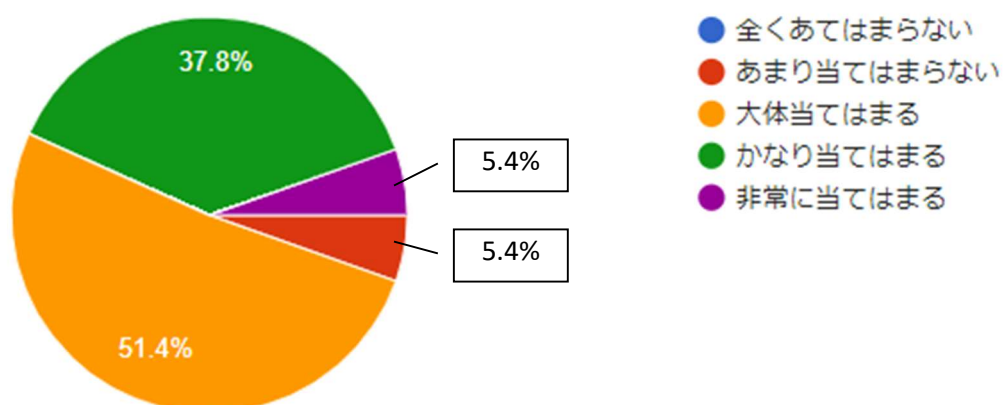
5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。



7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。



病院等アンケート実施結果について

1. 調査概要

- 1) 調査目的：本学の卒業生の「在学中に身につけさせる学力や資質・能力及び養成しようとする人材像に照らし合わせ、教育の成果や効果を検証すること」を目的とした調査を行い、今後の教育活動の改善に活かして参ります。
- 2) 調査内容：学位授与方針に関する到達度
- 3) 調査対象：本学卒業生の就職先の病院・施設
- 4) 調査方法：同封の書面のQRコードへアクセスし、グーグルフォームで回答
- 5) 回答期間：2024 年1月吉日 ～ 2024 年3月15 日

2. アンケート実施結果概要

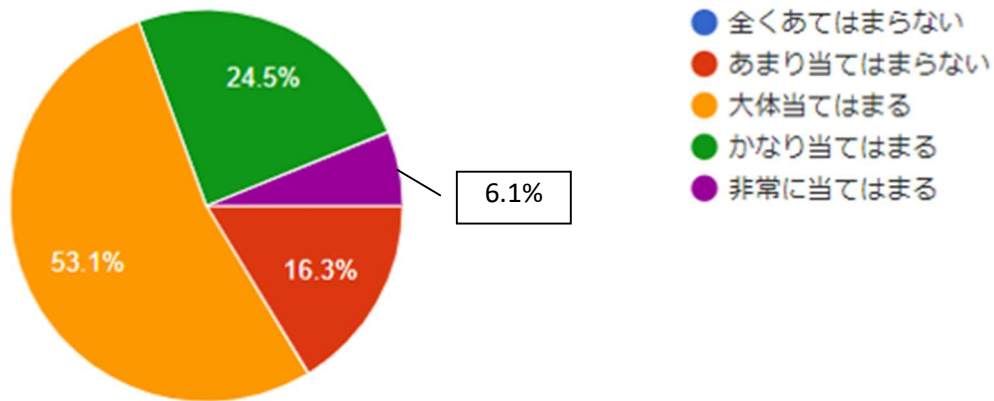
1) 集計数：

実施年度	2023年度
対象（入職）年	2023(令和5) 年3月 卒後1年目
対象病院・施設数	35 病院・施設数
有効回答病院・施設数	27 病院・施設数
回答率	77.1%

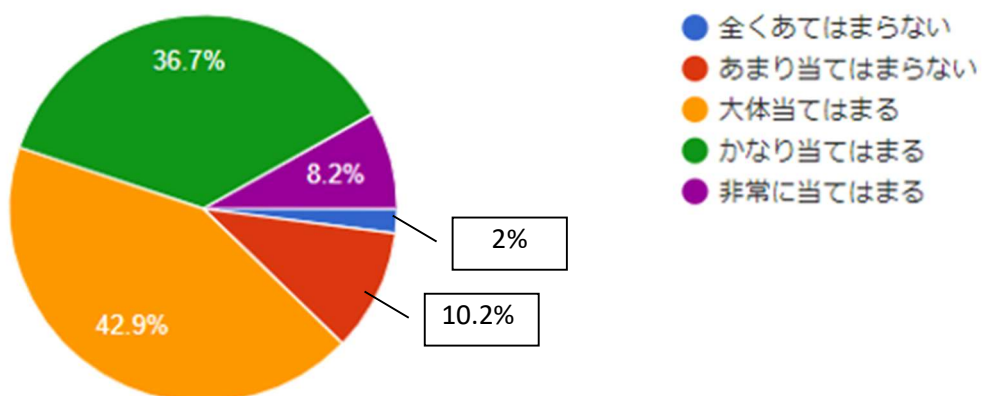
2) 回答結果：

<2023(令和5)年3月 入職>

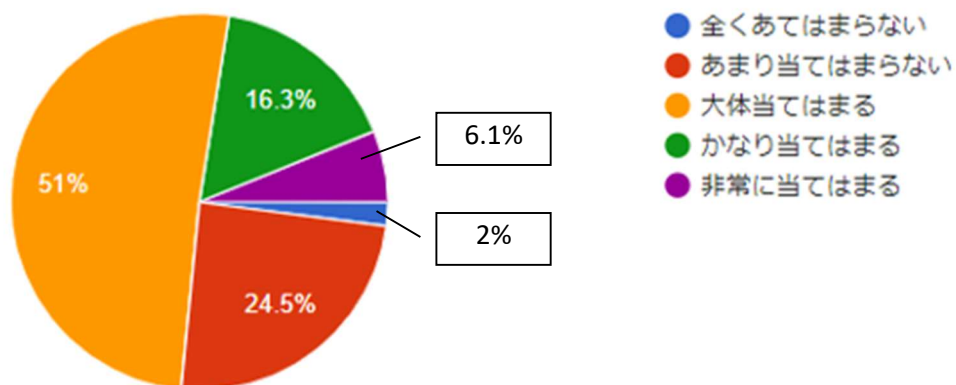
1.高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



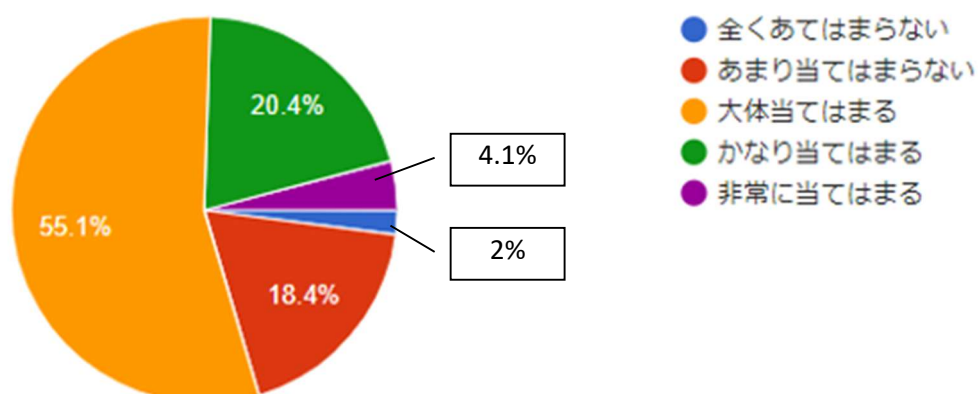
2.人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



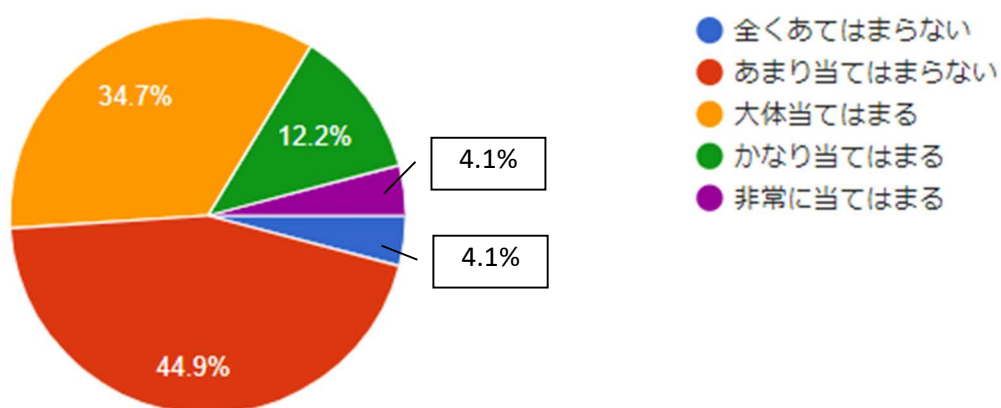
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



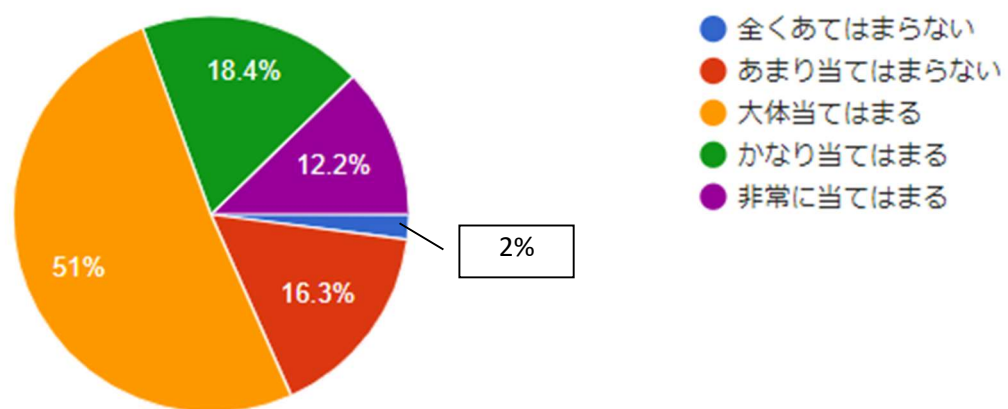
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



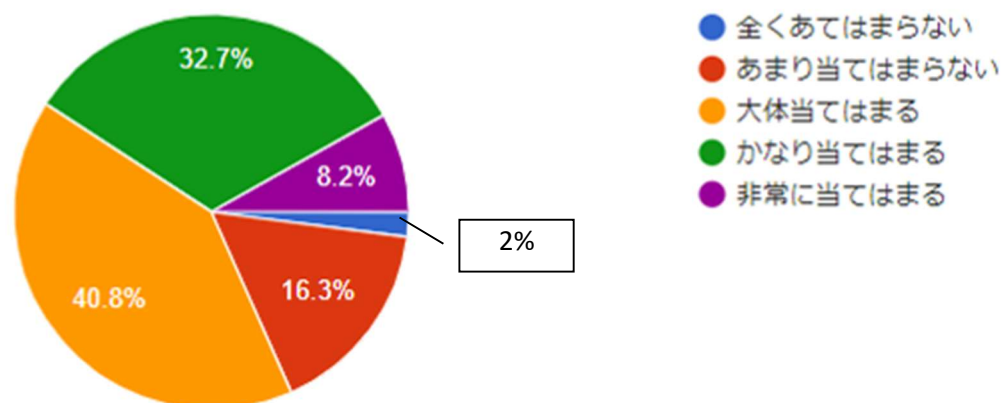
5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。



7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。



2022 年度実施

「卒業生のキャリアの状況の把握」調査結果について

実施対象： 2021 年 3 月卒業生（1 期生）

2022 年 3 月卒業生（2 期生）

卒業生の卒後の看護実践能力等に関する調査結果について

1. 調査概要

- 1) 調査目的：卒業後のキャリア形成の観点から、在学中に身につけた「学力や資質・能力」が、現在の職場で活かされているかどうかを目的とした調査を行い、今後の学修成果の評価および今後の教育活動の改善に活かして参ります。
- 2) 調査内容：学位授与方針に関する到達度
- 3) 調査対象：本学卒業生
- 4) 調査方法：同封の書面の QR コードへアクセスし、グーグルフォームで回答
- 5) 回答期間：2023 年 3 月 14 日 ～ 2023 年 4 月 20 日

2. アンケート実施結果概要

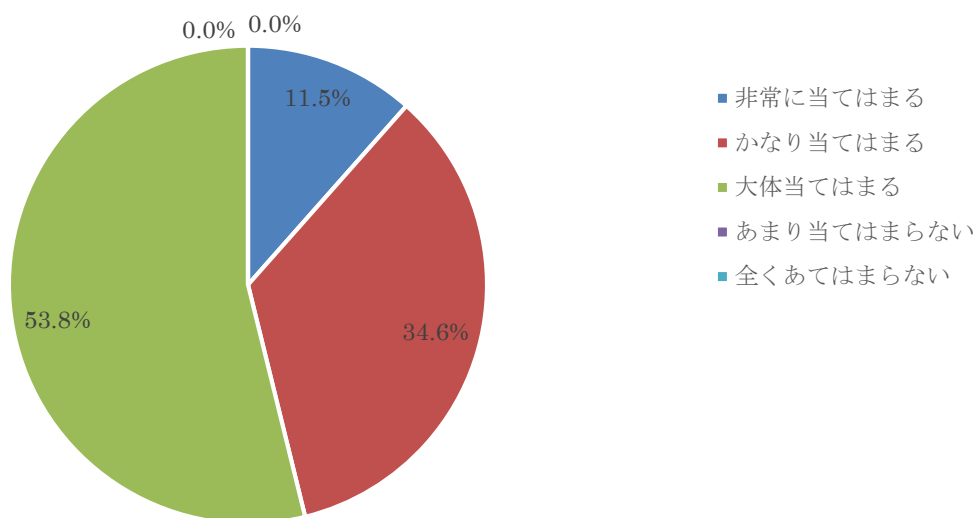
1) 集計数：

実施年度	2022 年度	
対象（卒業）年	2021(令和3) 年3月 卒後2年目	2022(令和4) 年3月 卒後1年目
対象人数	76人	86人
有効回答人数	26人	29人
回答率	34. 2%	33. 7%

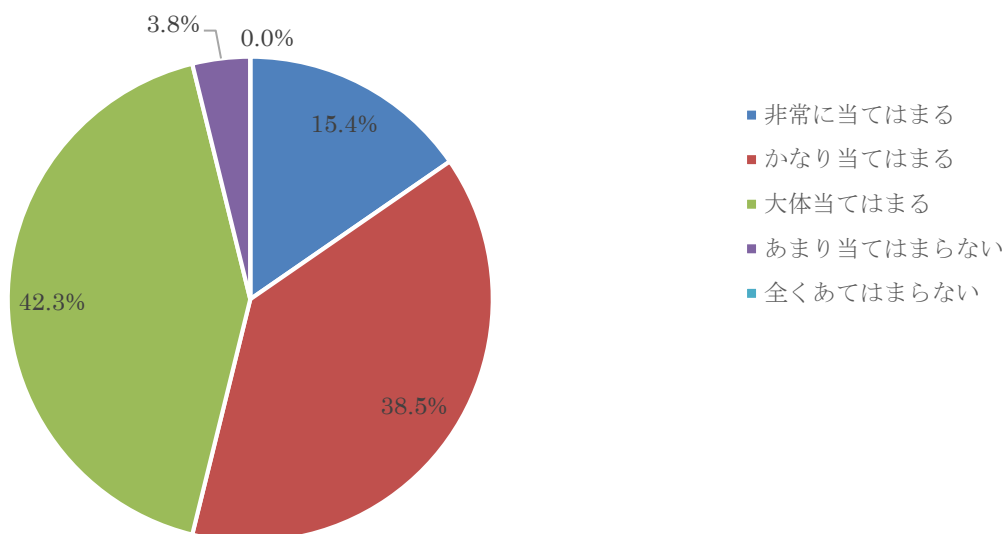
2) 回答結果：

<2021(令和3) 年3卒業>

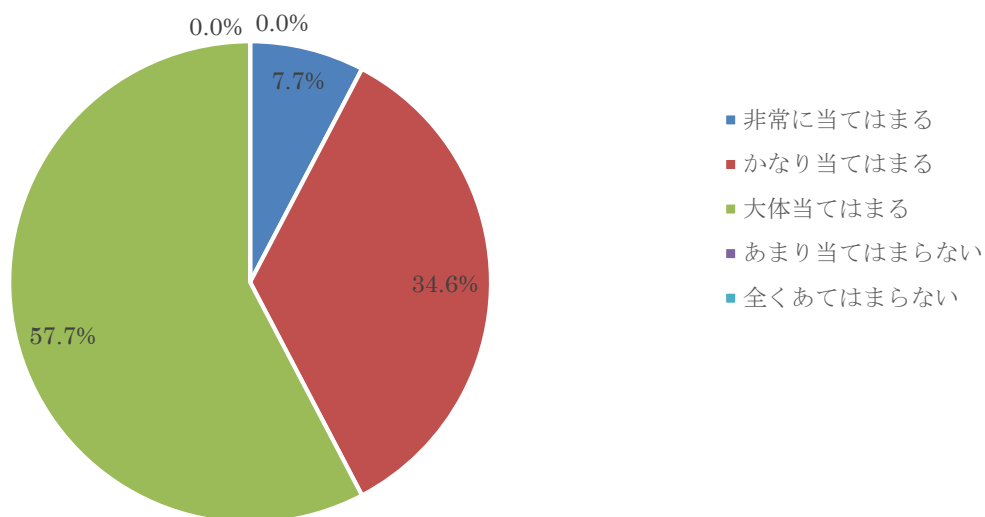
1. 高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



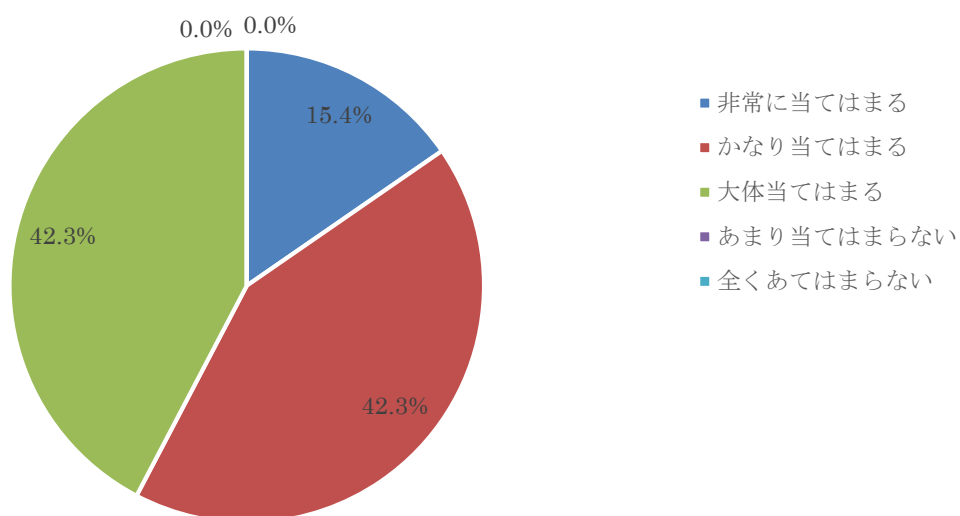
2. 人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



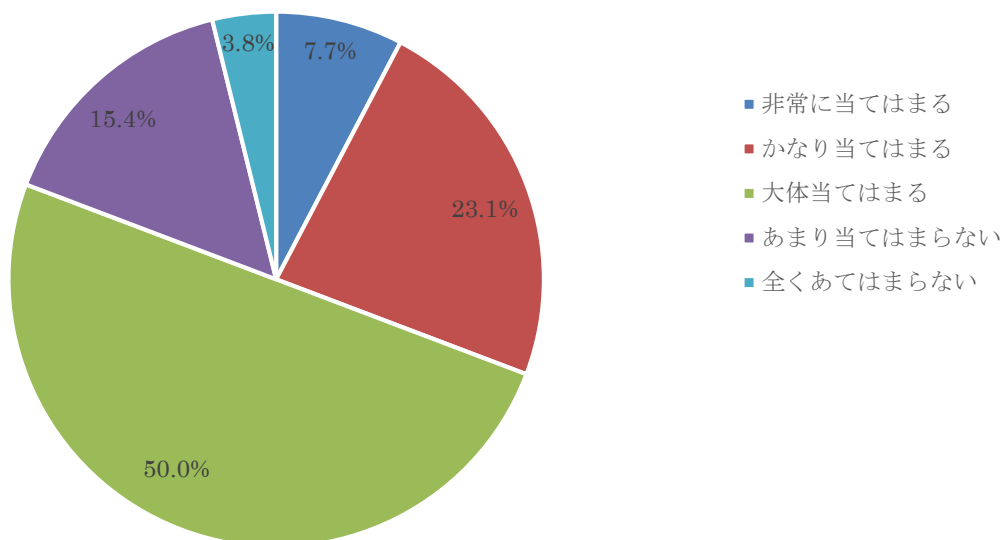
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



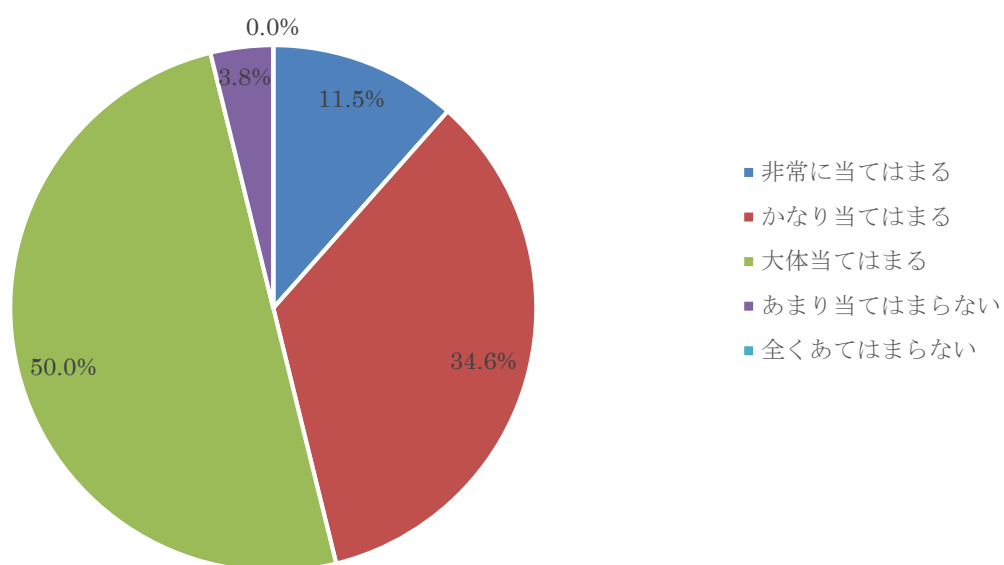
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



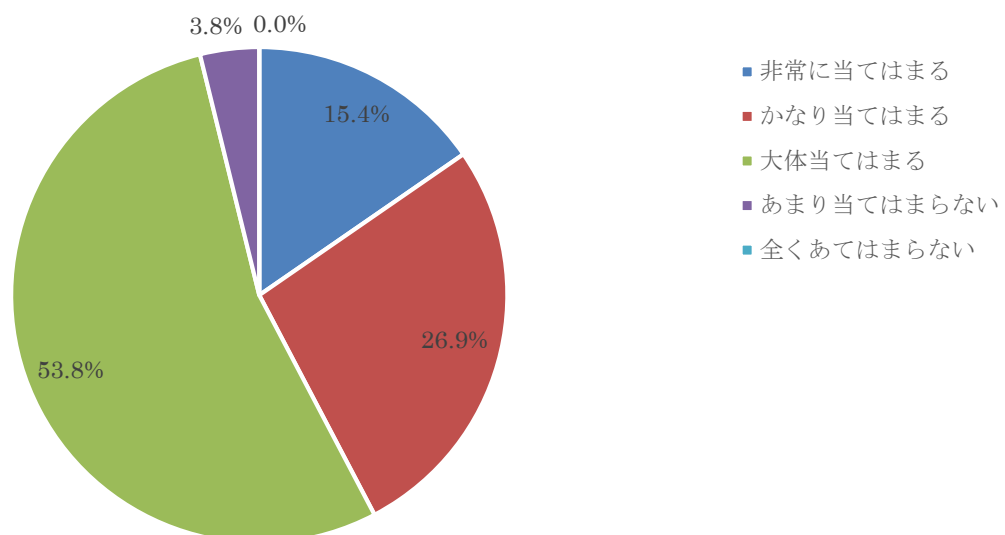
5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。

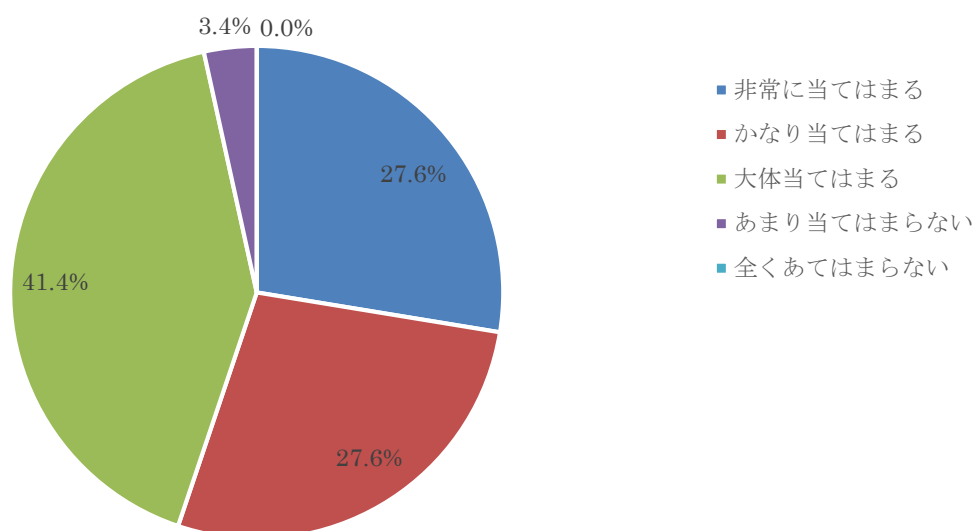


7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。

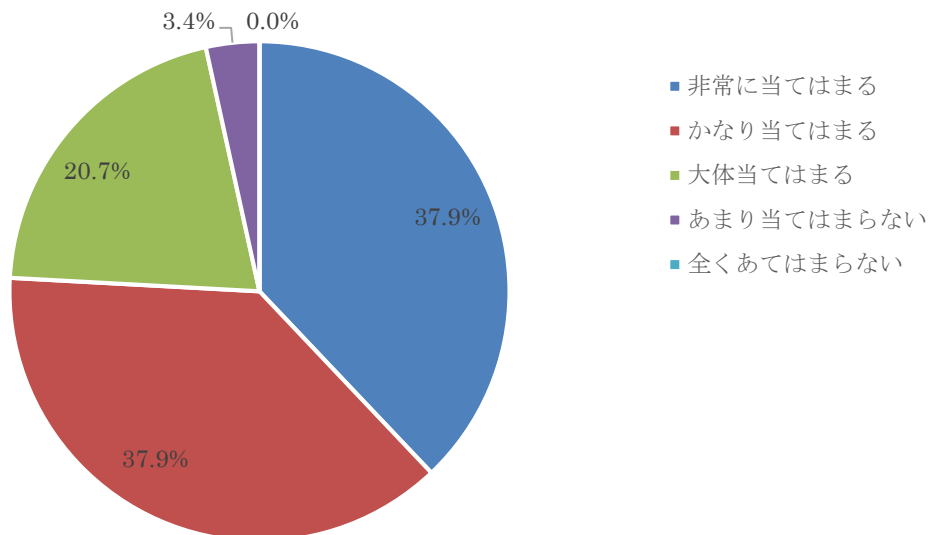


<2022(令和4) 年3月卒業>

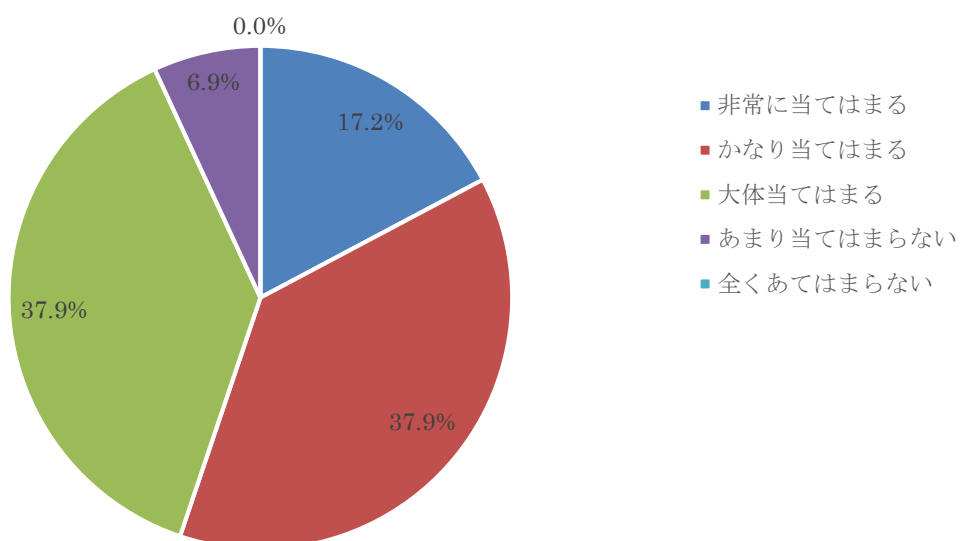
1. 高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



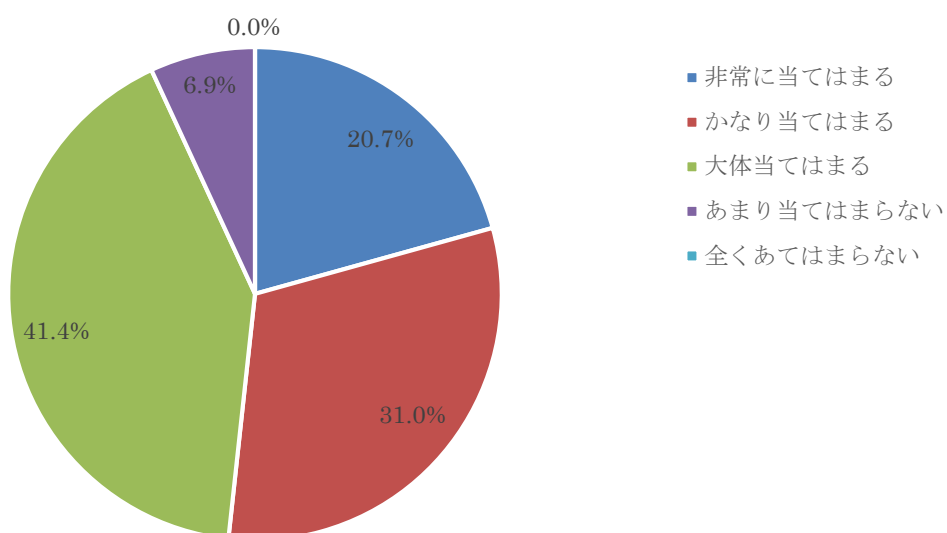
2. 人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



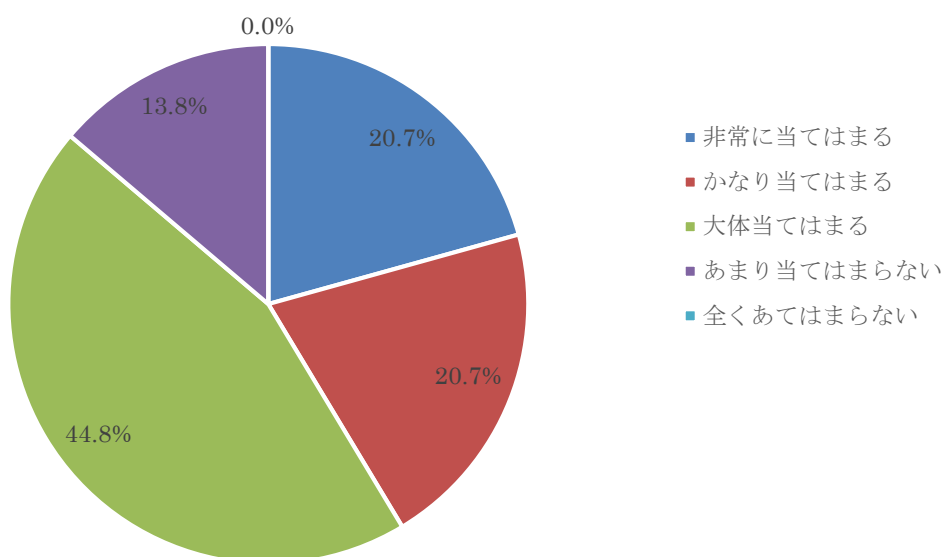
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



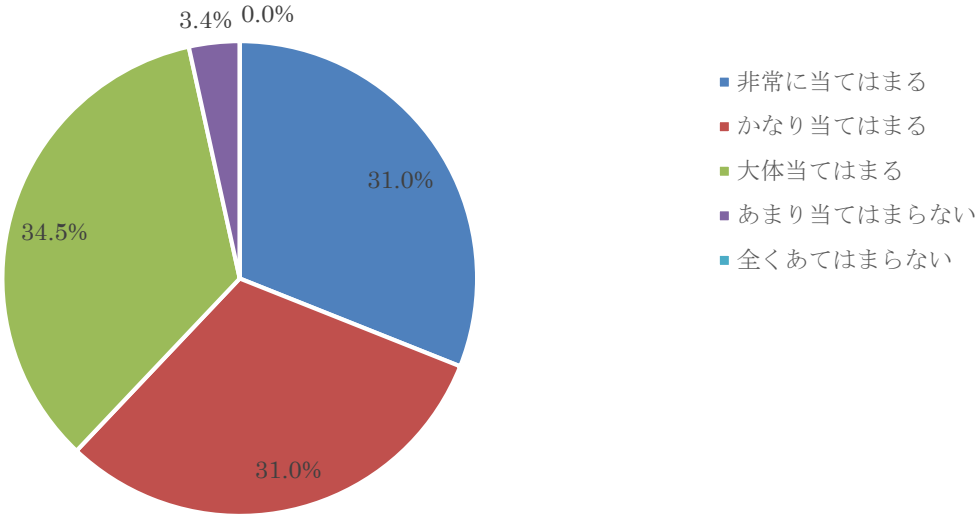
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



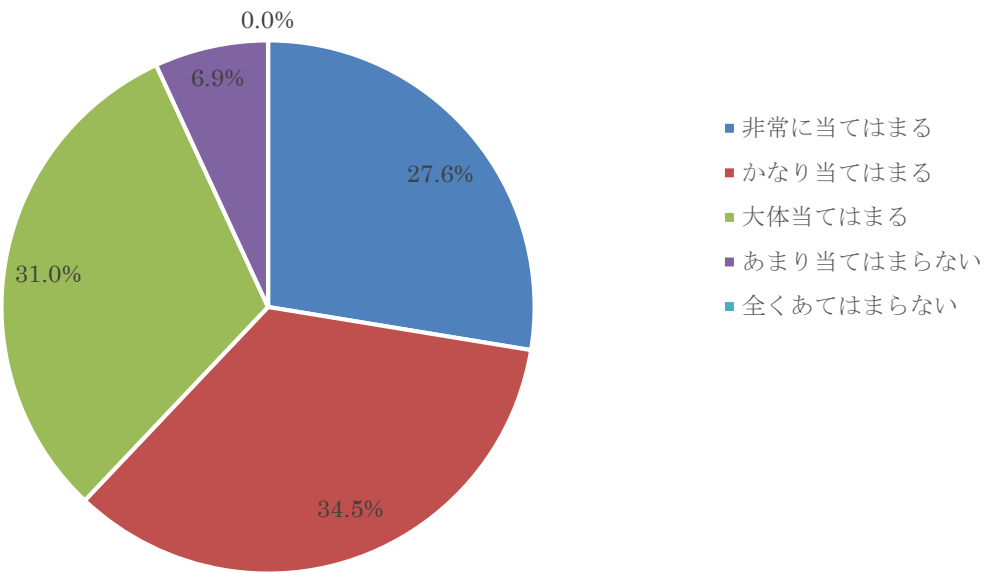
5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。



7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。



病院等アンケート実施結果について

1. 調査概要

1) 調査目的：本学の卒業生の「在学中に身につけさせる学力や資質・能力及び養成しようとする人材像に照らし合わせ、教育の成果や効果を検証すること」を目的

とした調査を行い、今後の教育活動の改善に活かして参ります。

2) 調査内容：学位授与方針に関する到達度

3) 調査対象：本学卒業生の就職先の病院・施設

4) 調査方法：同封の書面の QR コードへアクセスし、グーグルフォームで回答

5) 回答期間：2023 年 3 月 14 日 ～ 2023 年 4 月 20 日

2. アンケート実施結果概要

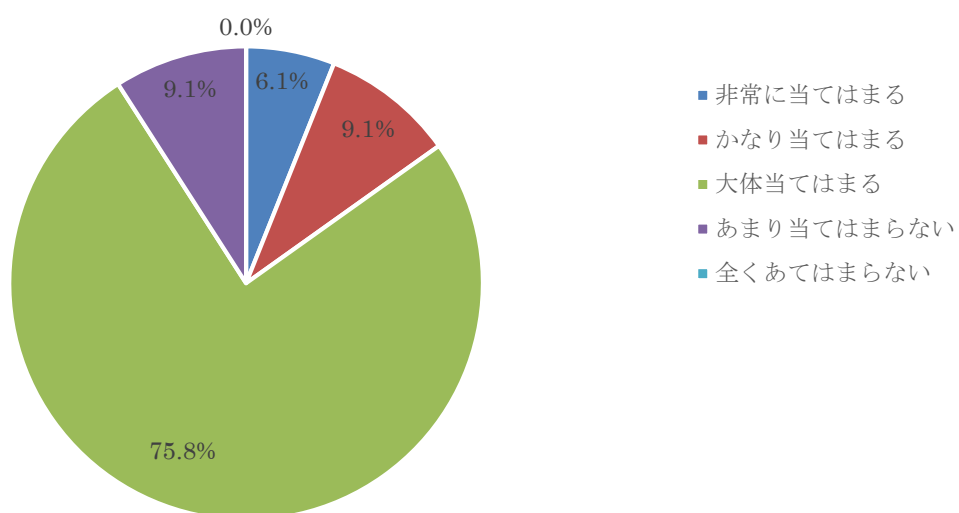
1) 集計数：

実施年度	2022 年度	
対象（入職）年	2021(令和3)年4月 入職2年目	2022(令和4)年4月 入職1年目
対象病院・施設数	76 病院・施設数	86 病院・施設数
有効回答病院・施設数	33 病院・施設数	44 病院・施設数
回答率	43.4%	51.2%

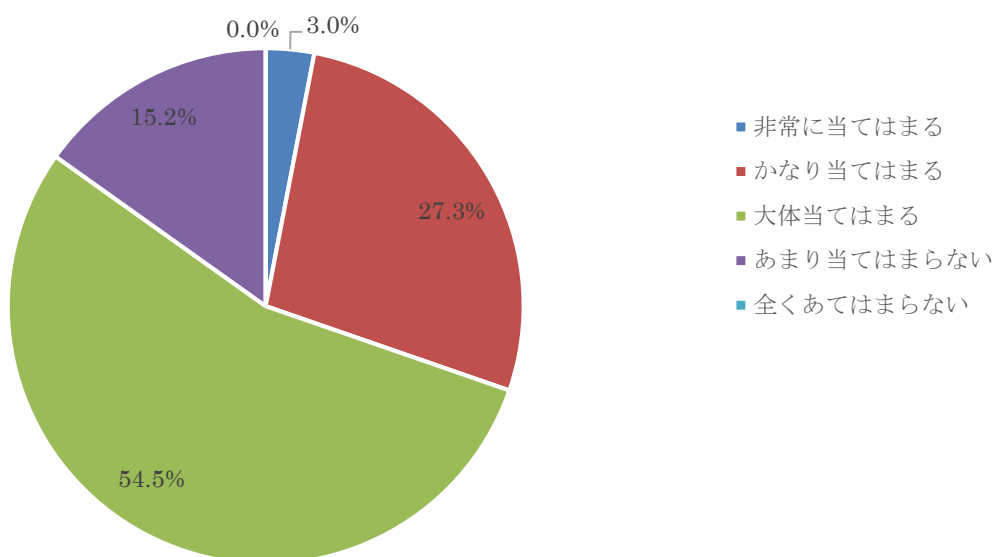
2) 回答結果：

<2021(令和3) 年4月 入職>

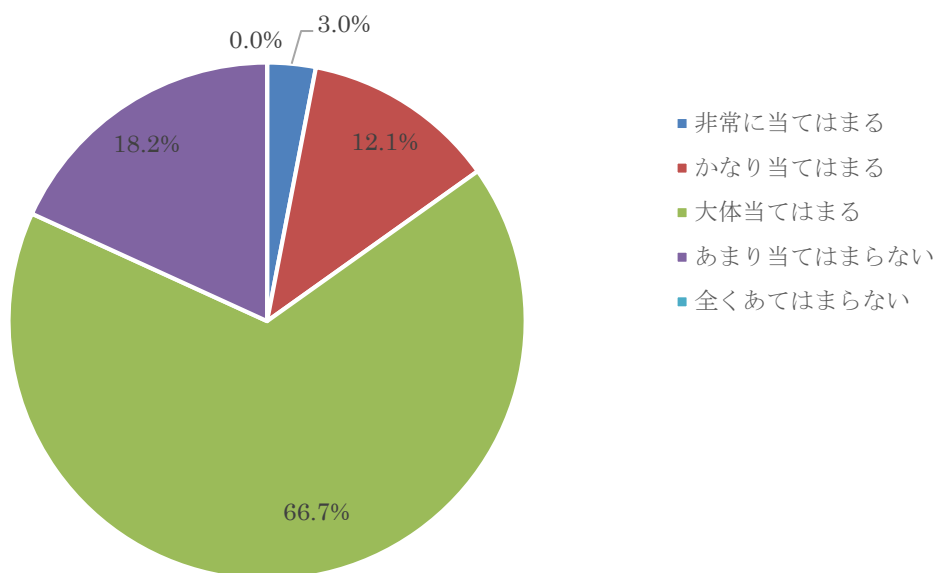
1. 高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



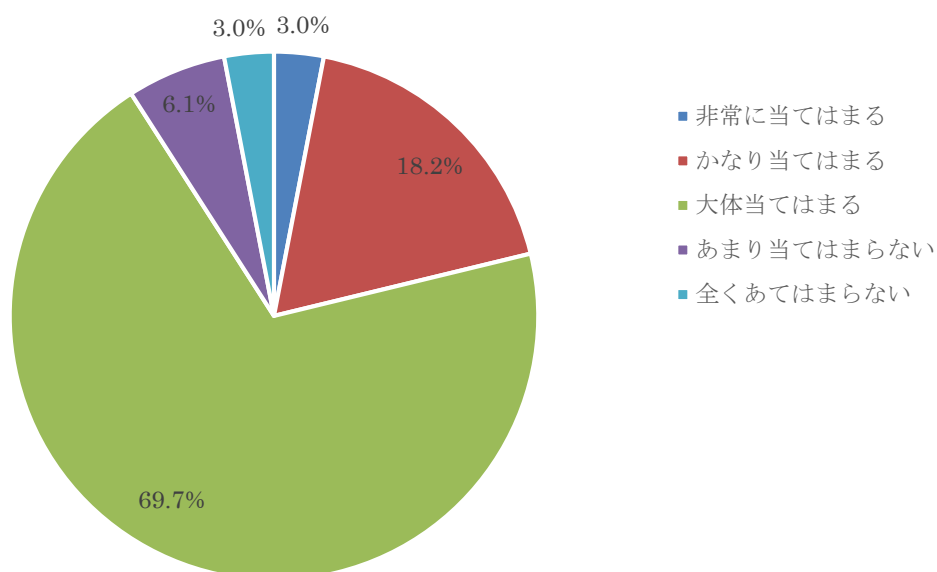
2. 人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



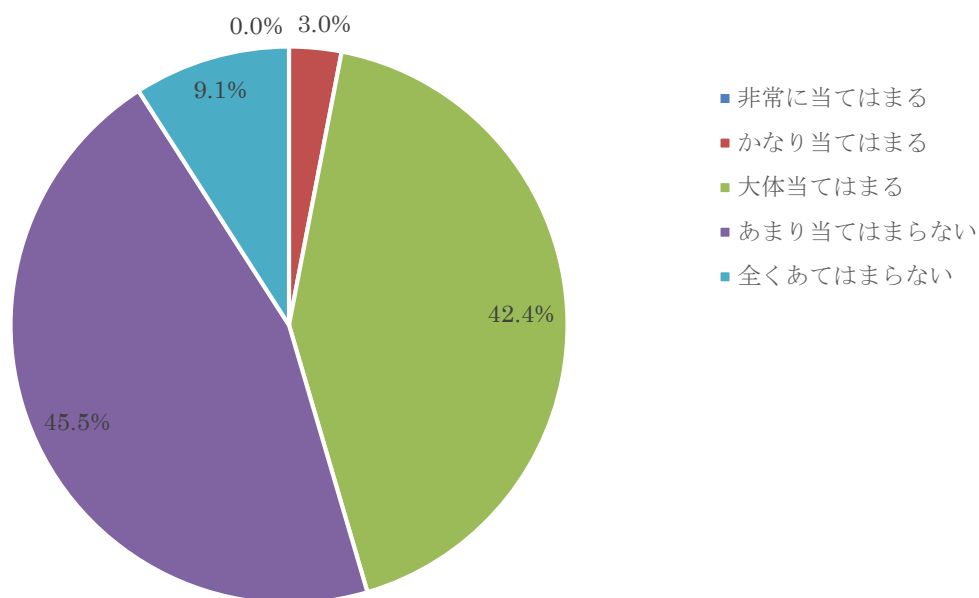
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



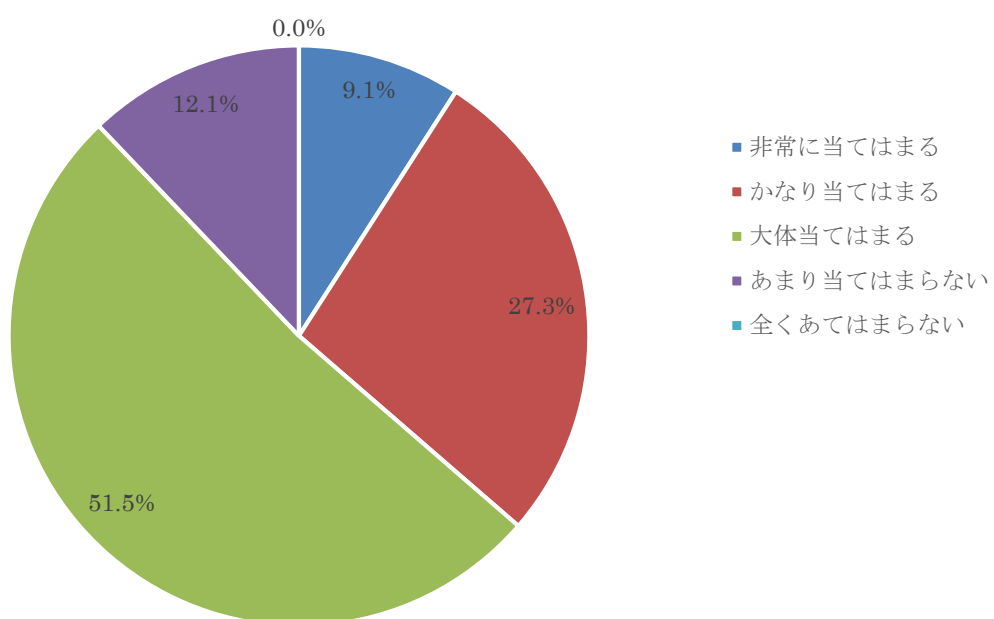
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



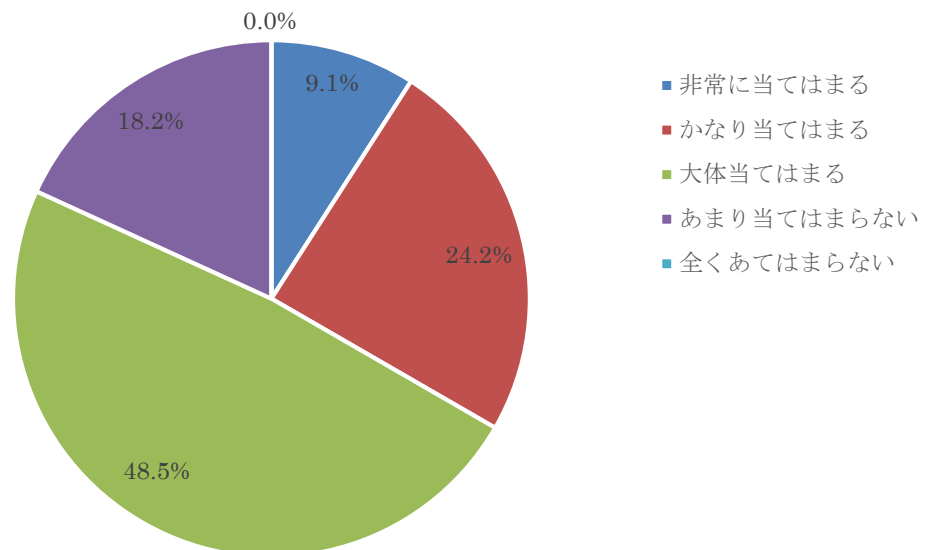
5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。

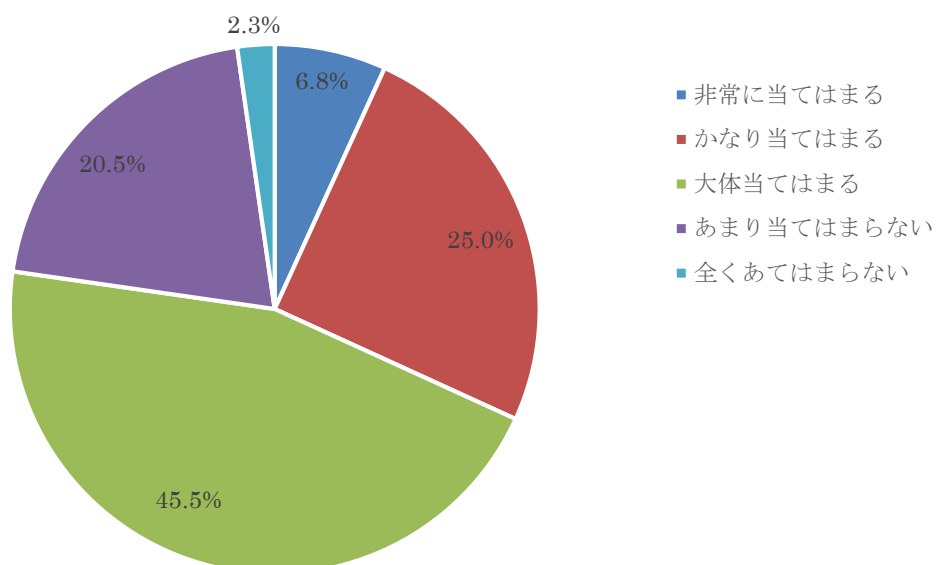


7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。

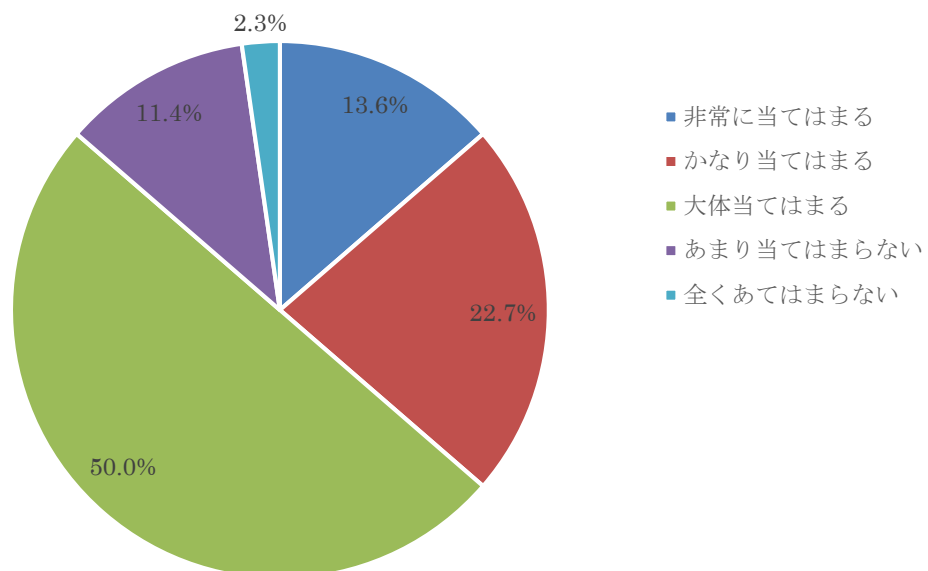


<2022(令和4) 年4月入職>

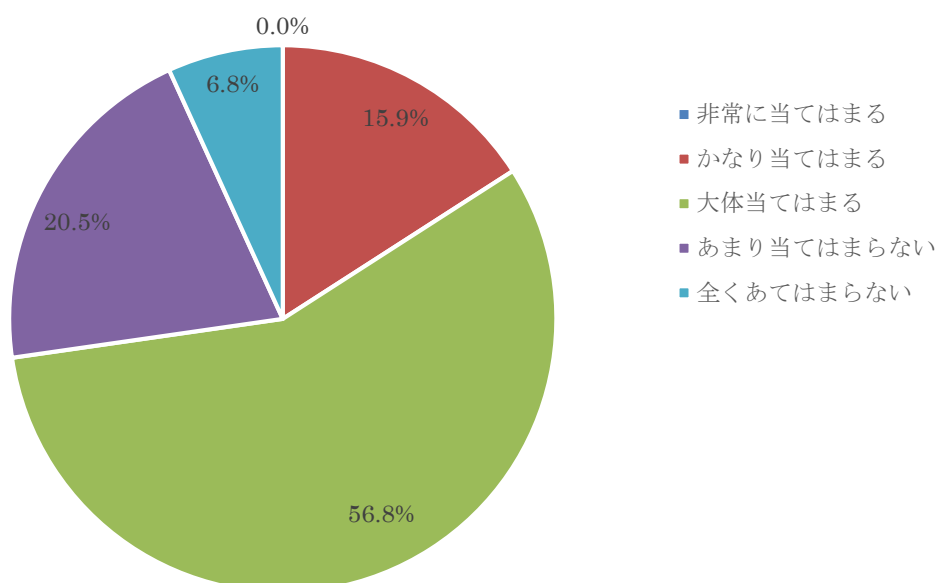
1. 高い倫理観を持ち人間の生命と尊厳及び権利を尊重し行動することができる。



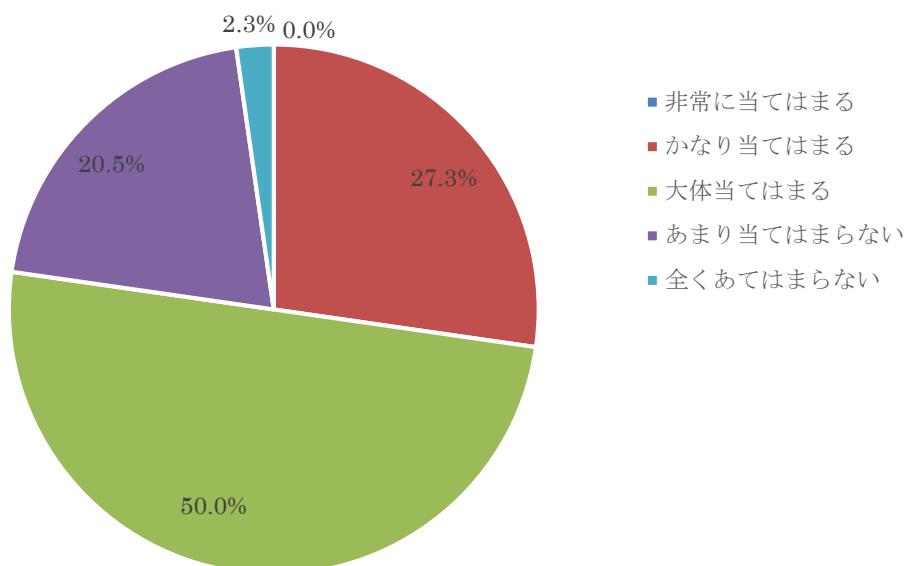
2. 人々からの信頼を得るための品格を養うため、誠実に、礼節をもって行動することができる。



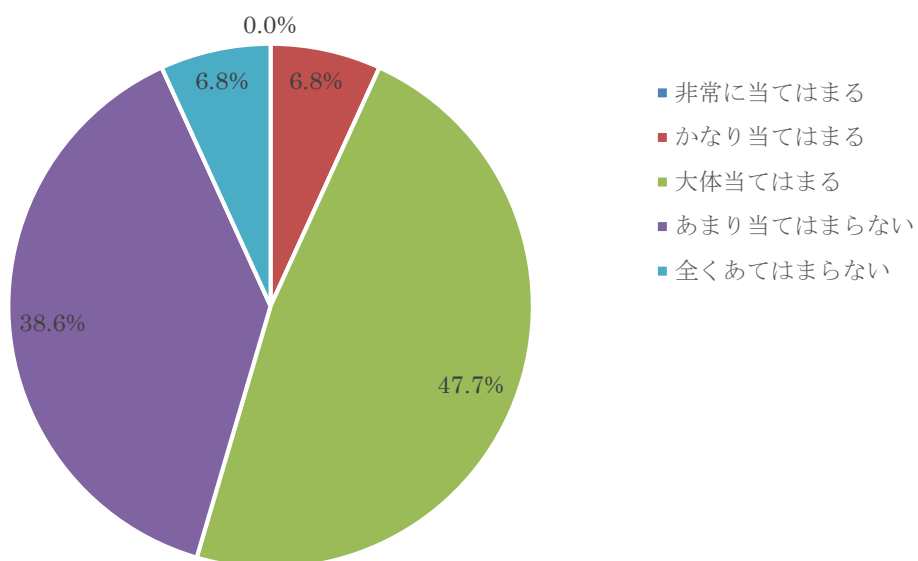
3. 根拠に基づく専門的知識・技術、ならびに論理的思考力による臨床推論により、対象の健康の保持増進、疾病予防、健康回復、QOL向上に寄与する看護を提供することができる。



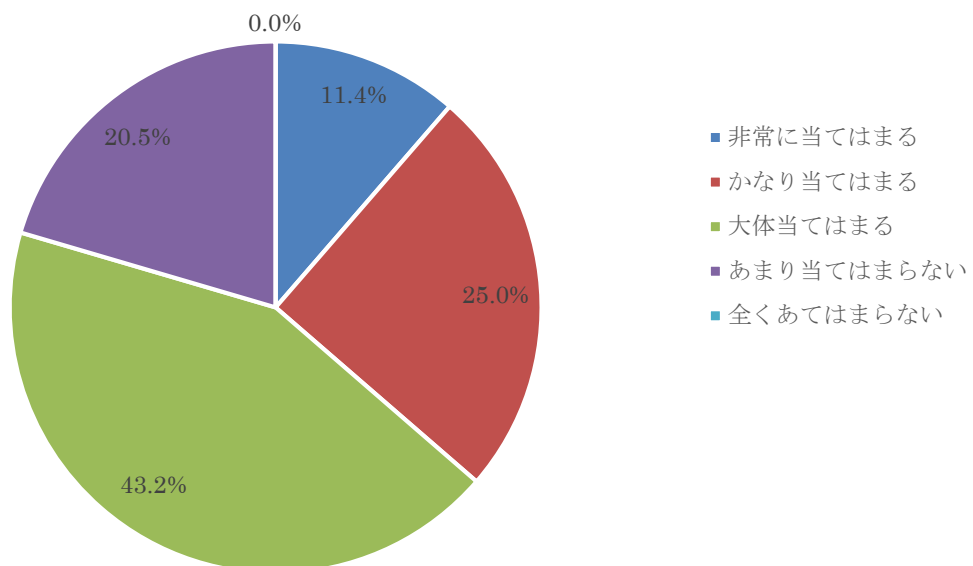
4. 保健・医療・福祉のチームの一員として、各専門職の役割を理解し、連携・協働して、看護職の役割を考え果たすことができる。



5. 地域の特性を理解した上で、地域に貢献する活動を志向することができる。



6. 自己を研ぎ継続的に学ぶ姿勢を身につけることができる。



7. 人としてまた専門職として、自らの力を伸ばすことができる。

